

# 令和元年度第1回酒田市行財政改革推進委員会記録

日時 | 令和元年7月31日(水) 13:30~15:20

場所 | 酒田市役所 本庁舎3階 第三委員会室

## 出席委員 (8名) ※欠席委員1名

阿部直善	委員	池田千里	委員
小野英一	委員	齋藤緑	委員
佐々木一美	委員	佐藤由美	委員
橋本朋佳	委員	富士直志	委員

~~~~~

## 酒田市側出席者 (2名)

丸山至市 市長 田中愛久 総務部長

## 事務局出席者 (4名)

|      |        |      |               |
|------|--------|------|---------------|
| 金子俊幸 | 行政経営課長 | 阿藤秀一 | 行政改革主査兼行政改革係長 |
| 齋藤奈美 | 資産経営係長 | 齋藤茂喜 | 行政改革係主任       |

~~~~~

## 次 第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 会長及び副会長の選出
- 4 議事
  - (1) 酒田市行財政改革推進計画 平成30年度実施計画実績報告について
  - (2) その他
- 5 閉会

## 1 開 会

### ○阿蘇行政改革主査

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。ただ今より、「酒田市行財政改革推進委員会」を開会いたします。私は、酒田市行政経営課の阿蘇と申します。会長が選出されるまでの間、進行を務めます。よろしくお願いいたします。

---

## 2 市長あいさつ

### ○阿蘇行政改革主査

開会にあたりまして、市長よりごあいさつを申し上げます。

### ○丸山市長

暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。また、ご多用の中、委員就任についてご快諾いただき、ありがとうございます。委員の皆様は、各分野においてご活躍いただいている方ですので、幅広い視点で自由闊達なご意見を賜りたいと考えております。

酒田市では行財政改革推進委員会を設置し、行財政改革推進計画を策定しております。基本方針として、平成28年度から令和2年度までの5箇年の計画を定め、実施計画として、毎年度の具体的な取り組みを定めております。酒田市の行財政運営においては、大変重要な計画となっておりますが、今回、改選された委員の皆様には、来年度の計画策定に向けて重要な役割を果たしてもらおうこととなります。

本日は平成30年度の実施計画の実績について報告をし、ご意見を伺おうとするものですが、決められた計画どおりにきちんと進めているのかということはもちろんのこと、そもそも計画や目標自体のピントがずれていないかという観点からもご意見を賜りたいと思います。限られた時間ではありますが、よろしくお願いいたします。

---

## 3 会長及び副会長の選出

### ○阿蘇行政改革主査

次に、会長、副会長の選出をいたします。酒田市行財政改革推進委員会設置要綱第4条第1項の規定により、会長及び副会長は委員が互選することとなっております。いかがいたしましょうか。

### ○各委員

(声なし)

### ○阿蘇行政改革主査

特にご意見がなければ、事務局よりご提案申し上げます。阿部直善委員を会長、佐藤由美委員を副会長として提案いたしますが、いかがでしょうか。

○各委員

(拍手)

○阿藤行政改革主査

では、阿部委員を会長、佐藤委員を副会長に選出いたします。それでは、阿部委員は会長席にご移動をお願いします。

酒田市行財政改革推進委員会設置要綱第5条の規定により、会長が議長を務めることとなっております。今後の進行は、阿部会長をお願いいたします。

○阿部会長

ただいま会長に選出されました阿部でございます。今期もよろしくをお願いいたします。以前は大勢の人数の委員会でしたが、前回から少ない人数で活発な意見交換をしようということで、今の形となっております。皆さんからご意見を引き出せるように頑張りますので、どうぞよろしくをお願いします。

それでは、佐藤副会長からも、ご挨拶おねがいします。

○佐藤副会長

ただいま副会長に選出いただきました佐藤でございます。今期で2期目となりますが、まだまだ勉強中でございます。よろしくをお願いいたします。

○阿部会長

ありがとうございます。市長の話にもありましたが、今回は新任の方もいらっしゃいます。皆様からも自己紹介をお願いします。では、私から。社会福祉協議会の阿部直善でございます、よろしくをお願いします。これ以降は、名簿順で自己紹介をお願いします。

(各委員等自己紹介)

○阿部会長

ありがとうございました。議事の前に事務局より本日の進行について説明願います。

○金子行政経営課長

はい、本日の委員会の進め方についてご説明申し上げます。

本日は、酒田市行財政改革推進計画の平成30年度実績に係る意見交換を中心とし、終了時刻を午後3時と予定しております。また、当委員会是一般に公開することといたしており、議事録は後日各委員からご確認いただいた後に、委員氏名と併せて市ホームページで公開いたしますので、ご了承願います。次に、委嘱状とお茶についてですが、ペーパーレス、廃棄物削減の観点から省略することといたしました。こちらも併せてご了承いただきますようお願い申し上げます。

4 議事

(1) 平成30年度酒田市行財政改革推進計画実施計画実績報告について

○阿部会長

それでは、協議に入ります。(1)平成30年度酒田市行財政改革推進計画実施計画実績報告について、事務局から説明をお願いします。

○金子行政経営課長

事前に配布した資料を基に、委員の皆様より質問をいただいておりますので、この質問への回答を中心に説明いたします。

(資料に基づき説明)

○阿部会長

事前に質問あったものを説明していただきました。今の質問、それ以外のものでも構いませんので、意見を伺いたいと思います。

○齋藤委員

番号22の職員研修の充実について。酒田市の職員のIT化が遅れているように感じるので、IT化を進めるための研修を行い、IT化をぜひ進めていただきたい。

○小野委員

番号21の人事交流の実施について。平成30年度から民間企業との人事交流を行っているようだが、職員にとっても組織にとっても良いことだと思うので活発に行っていただきたい。

平成31年度実施計画の13ページにRPAの項目がありますが、昨年度の検討を反映してAIも入れていただいて、ありがとうございます。なお、山形県庁ではAIを会議議事録の作成に活用して、業務の効率化を図っているようです。

○池田委員

お二人よりITやRPAなど意見がありましたが、それが実現すればペーパーレスにもつながっていくと思いました。

○佐々木委員

山形県沖地震の際には、情報伝達に課題があると感じました。人によつての受け取り方が違うので、伝わり方にムラが出てしまい、避難するかどうかなどで差が出てしまうようです。また、様々な情報が飛び交っていると、どれを選択すればよいのか迷ってしまう人もいると思います。

○佐藤副会長

災害については、昨年同時期には最上川の増水がありました。今回の地震の際はホテルリッチに避難しましたが、対応は良かったです。ただ、一部の避難所開設にあたっ

ては、市職員より住民の方が早く到着し、鍵が開かなかったなど課題もありました。人間の行動が明らかになった災害であったと思いますので、今後に活かしていただきたいです。

前回も人事課より研修計画の資料をいただきました。行き届いた研修ではありますが、ただやるのではなく、何のため、誰を呼んで、何をするのか、何が一番必要なのか、その効果はどこに出たのか、をはっきり分かるようにすれば、より効果的な人材育成ができると思います。

#### ○橋本委員

生活する者の立場として、ごみ処理や上下水道が気になります。ごみの有料化は令和2年度からと書いてありますが、それがどれくらい浸透しているか気になっています。出前講座などで周知しているとのことでしたが、正直私も知りませんでした。生活に直結してくるところですので、説明を重ねていただきたいです。

上下水道の官民連携については失敗事例も耳にするのもあり、唐突な感じがしました。市民の理解を得られるように進めていただきたいです。

#### ○富士委員

教育委員会の監査にも携わっていますが、今回は数値目標を設定しているものを中心に見させていただきました。数値目標を掲げているのは30程度ありました。そのうち達成していて自分の中で「○」としたのが1/3程度。達成まで70%程度で「△」としたのが1/3程度。達成まで遠く「×」としたのが1/3程度。令和2年度までに「△」が「○」になるように頑張ってもらいたい。

分野別でみると、改革目標1の効率的な行財政運営はかなり進捗しているようです。改革目標2の市民の参画と協働の半分以上は目標に到達していないので、更なる工夫が求められます。改革目標3の持続可能な財政基盤は比較的順調であると感じました。この5年間で2/3くらいは目標達成して欲しいです。

パブリックコメントの目標は10件とありますが、設定根拠を教えてください。また、目標に近づけるために工夫していることがあれば教えてください。

47ページの公園施設の長寿命化及びバリアフリー化については、目標の39に対し実績が1となっており、目標に対する実績が極めて低くなっていますが、どのように捉えていますか。

#### ○阿部会長

一通りお伺いして職員研修やIT化、災害情報の伝わり方、職員研修が時代の要請に込えているか、生活者としてのごみや上水道など様々のご意見をいただきました。この場で回答できるものはお願いします。

#### ○田中総務部長

人事交流による職員研修は、荘内銀行から協力をいただいて、荘内銀行東京支店に職員を派遣しています。その他、国や県とも人事交流を行っています。

IT化によるペーパーレスについては、昨年度より部長会議で行っています。ようやく

慣れてきましたが、順次進めていきたいと思っています。

防災情報の伝達について。先日の地震の際は、屋内にいと屋外拡声器の音が聞こえにくかったようです。ハーバーラジオを活用した防災ラジオの普及にも努めているところですが、昨今はスマートフォンもあるので、それぞれが使いやすい手法で情報収集をしてほしいと考えています。なお、職員の情報伝達としては、今年から職員招集システムを導入しましたが、LINEのような機能もあるので、避難所情報や写真の共有が迅速かつ簡単にできるようになり、かなり有効だったと感じました。

ごみの関係は大変重要だと考えています。酒田市の焼却ごみの量は多い状況ではありますが、私自身も3年位前から紙の分別を始めました。雑紙の多さを感じているところですが、出前講座などによる周知は引き続き実施していきたいと考えています。

上下水道の官民連携とありますが、本市では広域化を目指しているものです。ご心配いただいた諸外国で起きたようなことは、ないと考えています。

パブリックコメントの目標数値の10件の根拠については、詳しくはないのですが、徐々に伸ばしていこうという趣旨だったのだと思います。公園の目標数値の39箇所は公園数だと思いますが、昨年度は最も大きい飯森山公園の大規模改修1件のみとなりました。今後は小さな公園も含めて長寿命化を行っていききたいです。

○阿部会長

ありがとうございました。他に何かございませんか。

○齋藤委員

日和山の下の池がきれいになっていましたが、実績数に入らないのですか。

○田中総務部長

日和山のひょうたん池は昨年度完成しましたが、長寿命化ではないため実績数値には入っていません。

○齋藤委員

番号35の障がい者バザーについて。「福祉作業所」という名称は法改正により無くなっています。

○阿部会長

今は障がい福祉サービス事業所です。

○阿部会長

番号11、22、23に関連して私の体験から。あるところの表示が間違っていたので、所管課に電話で連絡しました。その際に自分は名乗ったにも関わらず、職員は名乗りませんでした。その後、相当時間が経過してから直っていることがわかりました。普通であれば、私は名乗っているのですから、直した旨の連絡があっただけで済むべきだと思います。後日こちらからお礼の電話をしましたが、「お礼の電話ありがとう」という言葉もありませんでした。市民目線やコミュニケーション力の研修を、どのように考えているのか疑問に思いました。

業務改善全国大会では、山形市での取り組みとして、市民から破損箇所の通報が届い

たら、その対応状況を現地に張り紙をして市民にお知らせしているという発表がありました。今の事案の場合などはすぐにでも取り入れられそうなのに、酒田市では行われていないようです。また、働き方改革として終業ミーティングというものがありました。それをすることで、無駄な残業をしなくなるとのことでした。休憩室の改善という自分たちのことについての提案はあったとのことですが、果たして職員による改善提案は、市民の方を向いているのでしょうか。すぐにでもできることは沢山あるので、内向きの改善だけに限らず、市民の方を向いた改善提案や研修にも積極的に取り組んでいただきたいです。

ごみの関係では、ごみの量という点、私は焼却ごみと埋め立てごみのみで、リサイクルできるものは計算から除かれるものと勘違いしていました。他と比較する際には焼却に回らないリサイクルできるものも含めてごみの量を算定しているとのこと。「ごみ減量のために雑紙回収を」との掛け声で、我が家でも雑紙回収をやっているのですが、これまで焼却していた物をリサイクルに回したとしても、ごみの総量としては変わらないというのは、減量のPRとしてはいかなものなのかと感じています。市民も、酒田市の場合は分別が簡単で焼却ごみが多いから、ごみの量が多いと勘違いしているのではないのでしょうか。

#### ○佐藤副会長

昨年も市民アンケートを取られていましたが、質問項目はどうだったのかと質問させていただきました。先ほど話になった阿部会長が電話で意見を述べられたようなものは、市民課のアンケートには反映されません。インターネット上で皆さんの意見を寄せてもらい、意見集約すると足りないものが見えてくると思います。その足りないものを見れば、研修内容も見えてくると思いますので、それが研修内容を改善する近道になると思います。講師の方は外部からお呼びになるのか分かりませんが、我々の業界で接遇の研修をするときには、あえて流通系の講師をお呼びして接客を学ぶということもあります。市民の求めに対応するためには、どのような講師にお願いすればよいかということもご検討いただきたいです。

#### ○阿部会長

他にございませんか。

#### ○丸山市長

総務部長も答えていましたが、私からも。

IT化の関係で。私は市役所のIT化は進んでいないと思います。あまりにもセキュリティが重視されていることもありますし、全職員がペーパーレスに取り組みとなるとコストの壁も大きく、なかなか進んでいません。自由にパソコンを持ち込めない状況がありますし、一方で個人情報情報を大量に扱っているのが、情報漏洩となると大問題になります。私もiPadなどを持ち込んで、資料は電子データでもらえば相当なペーパーレスになると思います。今回の資料でも相当の紙の量になりますし。市長として政策や事業や課題などの協議をする際に、資料を紙でもらいます。それをすべて持っている、部

屋中が紙だらけになりますので、処分しています。小野委員からありましたように、AIを使って議事録作成をすれば、文字を打つ必要も無くなります。どんどんやるべきだと思いますが、なかなか進みません。セキュリティを考えると費用が膨らむケースもあるが、もっと真剣に考えないと、働き方改革が叫ばれる中で、事務量が増える一方になってしまいます。国ではSociety5.0などを進めているのが、AIやIT化、ペーパーレスなどはまだまだだなど。加速度を付けていかないと、このままでは、役所だけが非効率的な業務を行っていることになってしまいます。少し焦って取り組みをしていきたいと思っています。

人事交流について、荘内銀行も含めて様々な人事交流をさせていただいております。サンロクでは経済産業省からの人事交流の職員だけでなく、民間の方からもご協力いただいています。公益大の教員であった平尾先生、地元の商店街で活躍している佐藤香奈子さん、ANA総研からの職員などに活躍していただいて、私としては成果は出していると思います。吉祥寺では荘内銀行さんのお世話になっています。こちらから派遣する職員が派遣先で活躍できるか分かりませんし、来ていただく方がどのような方かも分からないので、人事交流はなかなか難しいのですが、非常に良い効果が出ているので、これからも行っていきたい思います。

災害情報について佐々木委員よりありましたが、今回も難しかったです。全員がスマホを持って伝達できるようになればよいのですが、防災行政無線は部屋の中にと聞こえにくいなど課題があり、必要な情報を一人一人の皆さんに伝えるのは非常に難しいという思いがあります。避難所のホテルリッチの件でいうと、市職員で全てをやり切るのは無理があると思います。コミュニティセンターの避難所に行っても、若手すぎると地域のベテランの方から逆に指図されてしまうということもありました。逃げる逃げないとなると市役所だけでこなせる問題ではなくて、地域や災害ボランティア団体などと連携していかないと、なかなかうまくいきません。情報の発信から避難までの全てを行政でしようとする、職員が何人いても難しいのが課題です。今のところきめ細かい情報となると、テレビ、ハーバーラジオがメインかと思います。まずは防災ラジオの普及などできることからしっかり行っていきたいと考えています。

人事課の研修メニューの件について。その研修によって、すべての職員がスキルを身に付けられるかまで求めてやれていないのが現状です。どんなに良い講師がいても受け止める側の心がオープンになっていないと何の効果も出ません。どのようにこじ開けていくのかが職員研修の大きな課題です。

ごみについては仰るとおりです。今の施設は何でも燃やせるし、発電もできるし、最終処分場の延命化もできるということで百何十億円かけて建設しました。次のごみ処理施設の更新でまた百何十億や二百億円かけるのは大変なので、過大な施設にならないように規模を縮小していく必要があります。将来的には最終処分場の新設も必要になってきます。ごみの有料化をすると減量化につながると言われているので、ごみの総量を減らしていくためにも有料化を考えています。ごみ処理施設更新における財源の節減ため



に有料化しているとは前面には出していません。そのようなことが住民の方に浸透していません。これが、あと数年後に更新しないといけないとなると、ごみ減量化に火が付きませんが、なかなかそこまでは行きません。ごみ処理の有料化の項目では令和2年度としていますが、私の思いとしては、令和2年度に有料化ではなく、どうしたらできるかということをして令和2年度まで結論づけたいと思っています。ごみ処理は遊佐町や庄内町と一緒にやっているの、我々だけ有料化すればよい話でもないの、1市2町の住民の方の間でコンセンサスをとらないといけません。ただし、本音のところでのPR不足もあるかも知れません。

上下水道についても色々な課題があります。我々としては広域統合です。今は山形県で水道用水を作り、酒田市と鶴岡市と庄内町に売っています。酒田市の場合は、県から水を買うだけでなく、最上川からも取水して、ミックスして皆さんに給水しています。統合できれば、職員や設備も効率化できます。全てを公務員で行うと人件費がかさんでしまうので、一部をノウハウを持った民間に委託しながら、コスト削減を行っております。統合と民間委託はセットで行っていることになります。水は「命の水」とも言われますし、水道は衛生面の課題から行政でやってきていた経緯もありますので、公は放すべきではないと私は思っています。ただし、民間に任せてコストダウンが図れて、かつ専門的な技術が必要な漏水箇所の修理などは、民間にお願いして、水道事業が安定的かつ継続的に運営できるようにしていきたいと考えています。簡単に全てを民間に委託するのは考えておりませんので、ご安心ください。

市民の参画と協働。市長として様々な事業をやって、住民参加と参画によるまちづくりとかっこいいことは言うのですが、なかなか人が集まってこないのが辛いです。あきらめずにやるしかありません。企画までは知恵を絞って事業を仕掛けても、人を集める場所に相当力を注がないと誰も集まってこないですよ。富士先生の生涯学習施設もそうだと思いますが、参加してもらって、意識が変わってもらわないと、このようなものは普及しません。参加者を集める仕掛けにももっと力を注いでいかないと、狙った効果が伝わっていかないということになります。

公園について。酒田の街の個性を話す時には、10万人規模では公園の数が一番多いと自慢のように言うのですが、それゆえに、長寿命化改修も進まないということにもなります。20～30年前までは公園は憩いの場で、市民生活を送るうえで身近に公園があることは素晴らしいことだと言われてきましたが、時代が変わって人口が減ってくると、逆に維持管理が負担になってきています。あまり機能していない公園をやめるという選択肢もありますし、子供たちが沢山集まる公園は改修していくという思いもあります。行財政運営上は、これからの課題の一つだと思っています。

最近、市役所の窓口に行ってもなかなか視線を合わせてくれないという声を聞きます。職員には、まずは顔と顔を突き合わせて対応してほしいと思っています。部課長会議等でも言っていますが、なかなか個々の職員までは届かないのが現状です。

行財政改革を進めるためには、職員一人一人の意識が重要ですので、あきらめずに皆

様からの意見を職員に広めていきたいです。

○阿部会長

ありがとうございました。市長からはほぼ全般に意見をいただきました。避難所の運営については市民協働の一つであります。避難所は避難した人が運営しないとイケないということは、コミュニティ振興会の集まりでは言うてはいるものの、まだ浸透していません。社会福祉協議会でも心配していて、自主防災会とも連携して、実際どのような行動をするのかという研修をもっと徹底していきたいと思っています。市の職員は避難所運営とはどのようなものを理解し、その上で連携すればよいのであり、避難所の運営は、直接市の職員がやってしまうとダメだと思います。防災ラジオはまた募集するようですが、ぜひ普及を図っていただきたいと思っています。

○齋藤委員

平成31年度の計画については話し合わないのでしょうか。一緒に送付いただいたので、これからのことを話し合うと思っていたのですが。

○丸山市長

次回ご説明させていただき、次年度の計画を策定していきます。せっかくご覧いただいたことですので、何かあればご意見をいただきたいです。

○齋藤委員

IT化は個人の技能というのがありますが、市長がIT化を推進していくなら大なたを振っていかないとできないと思います。うちの会計の電子化にも3年かかりました。昔のシステムから慣れるまでも大変でしたが、経営状況が随時把握できるようになりました。結論としては、税理士さんからはシステムの抜本的見直しをしていただき、クラウドで導入しました。これにより経営の見える化ができました。

窓口業務はすごく重要です。判断できる人を立てて、コンシェルジュにならないとダメです。わが社ではフロントで一本化して引き受けていますし、所長クラスも月1回は必ず立つようにしています。また、アプリをいれて情報共有できるようにしています。システムはトップが本気に思って改革しないとできません。今は酒田に住んでいない社労士なのですが、テレワークで対応してもらっていて隣の席にいる人のように仕事ができます。

○丸山市長

あえて1つだけ反論させていただくと市の業務は幅広く、国県との連携やセキュリティの維持も必要です。その上でシステムを導入しようとする、独自開発しないとイケない場合もあります。情報管理課もあるので、財政の状況も見ながら大なたを振るっていききたいと思っています。時代遅れの方法でやっているという認識もありますので。

○阿部会長

他にあればお願いします

○佐々木委員

人口減少について。朝のラジオ体操をみると、子供は数えるほどしかおらず、子供会

も運営できているのか気になっています。公園はいっぱいあればいいのかもしれないが、利用状況も見て、あまり利用されていない公園は閉めてある程度絞ったうえで、集中的に災害に備えた公園の整備をするのも一つの手段かと思います。状況はだんだん変わってきています。

○丸山市長

東根の大きい遊び場のようなものを望む声を聞きます。ただ、東根の場合は、建物は市で作りますが、運営はNPOのようです。屋内型の遊戯施設を作っても、支えていく土壌が無いと費用ばかりかかるので、市民協働は重要かと思います。

○齋藤委員

鶴岡のソライもいいですね。

○丸山市長

ヤマガタデザインの施設ですね。そのような風土が必要なんだと思います。

○齋藤委員

外国船クルーズ。朝早くのお店の問題もすぐ対応したようですし、酒田の対応がすごく良いという評価がされているようです。それこそが市民との連携だと思います。

○丸山市長

協働は実例を積み重ねて、風土を浸透させていく必要があります。なお、明日からは、ジェットスターが就航しますのでよろしくお願いします。

○阿部会長

お気づきの点があれば、メールやファックスで事務局へ。令和元年度の話もした方がよいとの話もあったが、今回は2月頃でしょうか。

○金子行政経営課長

平成31年度版やこれから作成する令和2年度版へのご意見もあると思いますので、随時メール等をいただければ幸いです。今のところ、今回は2月を予定しておりますが、もし話題が大きくなるようでしたら、別に意見交換の場を設けたいと思います。

○阿部会長

ご意見は共有したいと思いますので、取りまとめて回答をお願いします。

○金子行政経営課長

はい。

○阿部会長

その他は何かありませんか？

○各委員

(声なし)

○金子行政経営課長

先ほども話しましたが、議事録については各委員より確認していただきたいので、後日送付いたします。確認が取れ次第、公表となります。

○阿部会長

議事録については、要旨でお願いします。では、議事を終了し、進行を事務局にお返しします。お疲れさまでした。

~~~~~

**5 閉 会**

○阿蘓行政改革推進主査

阿部会長、ありがとうございました。これにて令和元年度第1回酒田市行財政改革推進委員会を終了いたします。お疲れさまでした。

**午後3時20分 閉 会**